

舵取り繁盛記

協会員の奥様登場

平村 文子（ふみこ）さん

●尾張南支部 株式会社テクア

取締役社長 平村成一氏夫人



「大変なことはみんな社長がしてくれる
ので、私の仕事はお留守番程度なんですよ。」
と謙遜なさりながらも、株式会社テクアの
取締役副社長として、ご主人をサポートし
ている文子夫人。笑顔がチャーミングな文
子夫人に、趣味の話やご主人について語っ
ていただきました。

【乗馬に挑戦しています。】

特別に習っている趣味はありませんが、旅行や
美術鑑賞は好きですね。あと、少しかじり始めた
のが乗馬。去年、南知多の上野間に南知多乗馬ク
ラブがオープンしたので、お友達に誘われて一緒
に始めました。子どもの頃にテニスをしていたこ
とを除けば、アウトドアとして特別なことをした
ことがないので、乗馬は私としては思い切った挑
戦ですが、始めてみたら爽快。初めて馬に乗った
時は、目線が高くて回りに見える風景もいつもと
違いますし、空間に浮いている感じで怖かったん
ですが、今は乗っている馬とのコミュニケーション

もとれるようになって、とても楽しくなりました。
1回40分程度の乗馬ですが、戸外でのスポーツ
として、良い気分転換になっています。

【美術鑑賞と旅行が趣味】

美術鑑賞では日展が大好きで、名古屋に来る
と必ず車をとばして見に行きます。すばらしい絵画
の前に立つと、心が落ち着きますね。特に好きな
絵は、加山又造さんの作品。初めて彼の作品と出
会ったのは、箱根の芦ノ湖近くにある個人所蔵の
成川美術館でした。ガラス張りになった大きな窓
から、湖と富士山が見えるステキなロケーション
の美術館ですが、そこで加山さんの“ネコとボタ
ンの花と月”を描いた作品と出会い、そのすばら
しさに感動して、以来彼の大ファンになりました。
もちろん加山さんの作品が名古屋に来る時は、必
ず見に行きます。

旅行は、日帰り旅行から1泊旅行程度で、出来る
限り行けるよう、お友達と努力しています。でも
去年の10月には、夫婦二人で長い間会社を留守に
するわけにはいかないので、友人と二人でヨーロ
ッパに8日間出かけました。イタリアのミラノから
スイス、最後はモナコに行くという珍しいコース
でしたが、スイスでの山登りも、南フランス独特
の明るい雰囲気で海がきれいなモナコも印象的で
した。



イタリアにて

舵取り繁盛記



京都・平安神宮にて

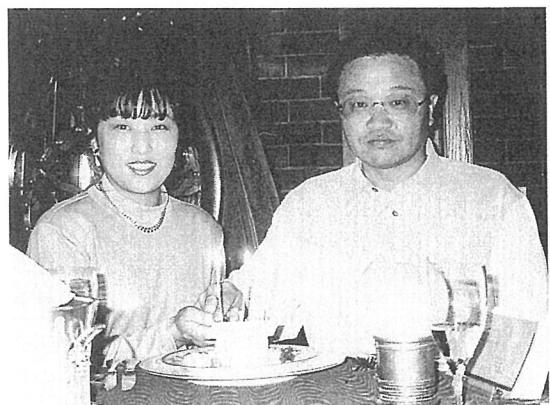
【封建的ですが尊敬できる夫です】

3人の子どもも、25歳・22歳・20歳になり、一番下の息子が静岡の大学に入学して、やっと母親業からも解放されたこともあって、夫とも1年に1回は二人だけの旅行を楽しんでいます。のんびりと温泉に行くことが多く、今年の3月にも箱根に行く予定です。



家族で韓国旅行

夫は、どちらかといえば封建的なところもありますが、とっても男らしい人。根性があって尊敬できる人なので、そういうところは子どもにも見習ってほしいと思っています。今の若い人のように、言葉でいう優しさはありませんけれど、思いやりはありますね。夫への要望は、お付き合いでの外食が多く、最近少し太り気味なので、くれぐれも身体に気を付けてほしいということ。あと、もう少し私に時間の余裕をいただけたらうれしいですね。どうしても仕事が中心なので、なかなか定期的に趣味の時間を持つのは難しいのですが、時間が許すようになったらもっと乗馬も続けたいし、以前に習っていて、指導いただいた先生が亡くなられたことから、それきりになってしまっている墨絵も、再開したいと思っています。



結婚記念日

《ご主人から奥様に一言》

私が3年前に足を複雑骨折して、いろいろと大変でしたが、会社のこと、家族のことと本当に良くやってくれました。自分が病気になってつくづく感じましたが、家内が病気もしないで元気でいてくれることは、本当にありがたいですね。そして、ふだんは口にはできませんが、わがままな自分によくついてくれたと、心より感謝しています。忙しく外で仕事ができるのも、事務所を安心して任せておける家内がいてくれるおかげ。本当にありがとうございます。